

医療機関の皆様へ

横浜市保健所長
修 理 淳

デング熱に関する注意喚起等について

日ごろから、横浜市の感染症対策に御協力いただき厚く御礼申し上げます。
厚生労働省より、令和 5 年 8 月 23 日付「デング熱に関する注意喚起等について」
の事務連絡がありましたのでお知らせいたします。

1 概要

デング熱等の蚊媒介感染症への対応については、「蚊媒介感染症の診療ガイドライン」（平成27年 5 月22日国立感染症研究所策定（最終改訂平成31年 2 月 7 日））等に基づき、御対応いただいているところです。

本年はこれまでに熱帯、亜熱帯地域において、デング熱の大規模な流行が報告されています。今後、こうした地域からの輸入症例等の増加する可能性が考えられることから、海外渡航歴のある患者においてデング熱を疑う患者を診察した場合は、「蚊媒介感染症の診療ガイドライン」等に基づき適切に御対応いただくようお願いいたします。

また、海外渡航歴のないデング熱を疑う患者を診察した場合は、速やかに最寄りの福祉保健センターまで御一報いただきますようお願い申し上げます。

2 添付資料

「デング熱に関する注意喚起等について」（令和 5 年 8 月 23 日事務連絡 厚生労働省健康局結核感染症課）

担 当：横浜市医療局健康安全課
電 話：671-2463 FAX：664-7296
E-mail：ir-kenkoukiki@city.yokohama.jp

事務連絡
令和5年8月23日

各 { 都道府県
保健所設置市
特別区 } 衛生主管部(局)御中

厚生労働省健康局結核感染症課

デング熱に関する注意喚起等について

デング熱等の蚊媒介感染症への対応については、「蚊媒介感染症に関する特定感染症予防指針」(平成27年厚生労働省告示第260号)、「デング熱・チクングニア熱等蚊媒介感染症の対応・対策の手引き地方公共団体向け」(平成27年4月28日国立感染症研究所策定(最終改訂平成29年4月28日))及び「蚊媒介感染症の診療ガイドライン」(平成27年5月22日国立感染症研究所策定(最終改訂平成31年2月7日))等において、国内における媒介蚊対策並びに医療機関における対応をお示ししているところです。

本年はこれまでに熱帯、亜熱帯地域において、デング熱の大規模な流行が報告されているところです。今後、海外渡航者の輸入症例等の増加する可能性が考えられることから、別添を用いたデング熱をはじめとする蚊媒介感染症の予防対策等の周知啓発にご協力いただくとともに、引き続き、適切な対応をお願いします。

また、一般社団法人日本感染症学会が公表している、「蚊媒介感染症専門医療機関一覧」を併せて情報提供します。

なお、各都道府県等におかれましては、管内で本年初の国内感染が疑われる事例が確認された場合、公表する前に、当課に速やかな情報提供をお願いします。

(参考)

- ・「蚊媒介感染症に関する特定感染症予防指針」
(<https://www.mhlw.go.jp/content/000832729.pdf>)
- ・「デング熱・チクングニア熱等蚊媒介感染症の対応・対策の手引き地方公共団体向け」
(<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000163947.pdf>)
- ・「蚊媒介感染症の診療ガイドライン(第5版)」
(<https://www.mhlw.go.jp/content/000477538.pdf>)
- ・「デング熱・チクングニア熱・ジカウイルス感染症等の媒介蚊対策<緊急時の対応マニュアル>」(国立感染症研究所ホームページ)
(<https://www.niid.go.jp/niid/ja/lab/478-ent/8757-2019-04-23-09-18-40.html>)

- 蚊媒介感染症専門医療機関一覧(一般社団法人 日本感染症学会ホームページ)
(https://www.kansensho.or.jp/modules/topics/index.php?content_id=25)
- 海外感染症発生情報(厚生労働省検疫所 FORTH ホームページ)
(<https://www.forth.go.jp/topics/fragment4.html>)

担当:厚生労働省健康局結核感染症課 動物由来感染症指導係 TEL:03-5253-1111(内)8050,8029 FAX:03-3581-6251

感染症の運び屋 蚊 から

バリアーで身を守れ!!!

- やぶなどの蚊がいそうな場所に行くときは、肌を露出せず、虫除けスプレーを使用するなど、蚊に刺されないように注意しましょう!
- ジカ熱やデング熱の流行地に渡航する場合は、現地で蚊に刺されないように注意しましょう!

虫除け剤でバリアー



虫除け剤を使いましょう

服でバリアー



出かけるときは肌の露出が
少ない服装にしましょう

●なぜ対策が必要?

ジカ熱やデング熱は蚊を介して感染します。原因となるウイルスは、感染した人の血を吸った蚊(日本ではヒトスジシマカ)の体内で増え、その蚊がまた他の人の血を吸うときにウイルスを移し、感染を広げていきます。

●ジカ熱やデング熱に感染するとどうなる?

感染しても全ての人に症状が出るわけではありませんが、発熱や関節の痛み、発疹が出るといった症状が1週間ほど出ます。また、ジカ熱は妊婦が感染すると小頭症などの先天性障害をもった子どもが生まれたり、デング熱では出血を伴うデング出血熱となり重症化することがあります。



【ヒトスジシマカ】

背中に1本の白い線がある3~5mmほどの蚊で、5月中旬から10月下旬ころまで活動します。雑木林・竹林・藪・墓地・公園などに見られます。特に日中に活発に吸血します。活動範囲は50~100m程度です。

ジカ熱・デング熱に関する詳しい情報は厚生労働省のHPをご覧ください。

ジカ熱 厚労省 検索



デング熱 厚労省 検索

